



桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和6（2024）年4月12日 第1号

文責：校長 佐藤 正貴

令和6年度の始まりにあたり・・・。

本校3年目となります。校長の佐藤正貴です。よろしく申し上げます。

令和6年度は、児童数839名、職員数74名でスタートしました。世間では相変わらず教員不足の状態が続いておりますが、本校も例外ではありません。教員不足の状況をいくら嘆いても、人が増えるわけではありませんので、現在在籍している職員の力を最大限に発揮できるように担任等を配置して4月8日を迎えました。毎年、始業式の際に、私は児童に何を話すのかと言うことを1年間を通して一番真剣に考えると思います。なぜなら、私の話よりも児童が知りたいのは「次の担任は誰なのか」という事だからです。これに負けないための話をするのは大変です。今のところ2連敗です。今年こそは・・・と意気込んだのですが、3連敗だったと思います。

さて、年度当初に何を話したのかというと、「学校は何をやる場所？」という話です。ちなみに入学式の式辞でも同じ話をしました。児童の答えは「勉強する場所」でした。「なぜ、勉強するのか」と問い返しました。「将来のため」という答えが返ってきました。その通りだと思います。将来という言葉は、自分自身の夢、目標、中には具体的な職業や未来像に置き換えることができます。「では、みんなが将来の夢に向かって勉強している学校の中で、守るべきことは何ですか？」と最後に問いかけました。「人に迷惑をかけるな」と返ってきました。昨年度、ずっと言い続けたことが、しっかり児童の心に残っていました。

学校の中で、人に迷惑をかけるということは、その人の夢の実現を邪魔していることとなります。一緒に学んだり、喜んだり、楽しんだりしているときは問題ありません。しかし、学校生活の中では、悲しくなることがあります。嫌になることもあります。友だちとトラブルになることも少なくありません。教師の指導等に対して納得がいかないこともあるでしょう。こんな場面になったとき、間違っただけをとりとめてしまうことが、人の迷惑になることです。人と人が関わり合う社会の中では、こうした問題を避けて通ることはできません。だからこそ、このような場面や状況に陥った時の対処方法や改善方法を児童と一緒に考えていくことを大切にしていきたいという思いで話をしていきました。考えていくために必要なことは、児童個々が自分自身の言動を振り返ることができる力をつけることです。そのために次のことを踏まえて、今年度の学校教育目標を設定しました。

学校は、自分自身の外見ではなく、内面を磨く場所です。内面を磨くとは、知識を得て、それを活用しながら、考えを深めていくことや表現する力、自分や周りを大切にする心を持つこと、集団生活、社会生活を営む上での規範意識を高めることです。これらは自分一人だけでは磨くことができません。だから、互いに磨き合うことで、より高みを目指して欲しいと思っています。そして、磨き、高め合った知識や技能、心を合わせながら新たなことに皆で挑戦して欲しいと思っています。そんな願いを学校教育目標に込めています。

令和6年度 学校教育目標

磨き（己）・高め（互）・創造（皆）し合える児童の育成



144名の入学式

4月9日（火）に令和6年度の入学式を執り行いました。子どもたちは、少し緊張しているような姿も見られましたが、名前を呼ばれると元気に返事をしてくれました。式の中で、私が一番素晴らしいと感じたのは、6年生代表児童による歓迎の言葉です。1年生が分かる言葉で、学校生活が楽しみになるような内容で話してくれました。新入生が、6年後にそんな上級生へと成長してくれることを楽しみにしています。